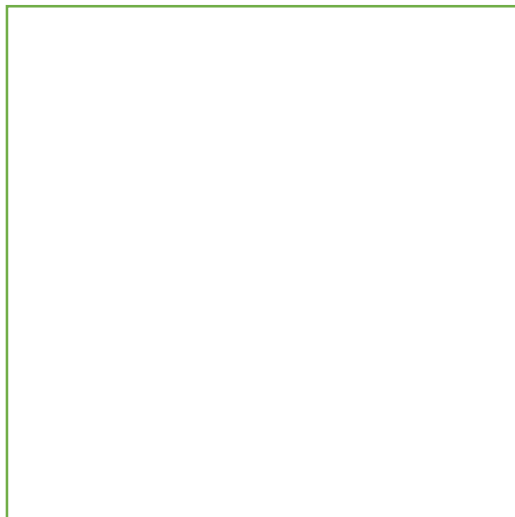


## 5/19 全校朝会校長先生のお話より

この人は誰でしょう。知っていますか。



ヒントその1、新一万円札の肖像として、3年後に登場する人です。因みに、現在の一万円札の肖像は誰でしょう。福沢諭吉さん前は誰だったでしょう。

ヒントその2、今年の2月14日から放送されているNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公です。そうです。

「日本資本主義の父」と言われる渋沢栄一さんです。

日本最古の銀行である「第一国立銀行」やアジア最初の基礎科学総合研究所である「理化学研究所」、そして「東京証券取引所」などといった様々な企業を設立した功績からそう呼ばれています。

その渋沢栄一さんが残した言葉に「夢七訓」というものがあるので紹介します。



「夢」を持たない人は「理想」もない  
「理想」が無い人は「信念」もない  
「信念」が無い人は「計画」もない  
「計画」がない人は「行動」が出来ない  
「行動」出来ない人は「成果」を得られない  
「成果」を得られない人は「幸せ」になれない  
だから幸せになりたい人は「夢」を  
持たなくてはならない

全ての幸せは「夢」からはじまる、ということです。

「夢」、皆さんにはありますか。

「夢」と言われると皆さんはどのように感じますか。

わたしは、「夢」と聞くと、「将来、叶えたい夢」とか「実現させたい夢」のように、将来の、何か“大きな”目標と感じてしまいます。時として重たくも感じます。

逆に、人によっては、「夢がない自分は幸せになれないのか…」と、がっかりしたり、「夢」を作らなければと焦ってしまいそうです。

そこで、自分に当てはめてみて、こんな風に考えてみたらどうでしょう。

「夢」と大げさに構えずに、なんでもいいです、毎日のほんとは小さなことでいいので、「こんなことができるようになりたい」「そんな風になったらいいな」と感じたら、「そのためには何が必要なのかな」、「じゃあ、〇〇をしてみよう」と“行動に移す”ようにしてみたらどうでしょう。願いに向かって実際に行動に移せば、何らかの結果、時には成果、少なくとも「やってみたら変わった」という充実感は間違いなく感じられるはず。自分って「案外やれるじゃない」と、自分に自信が持てます。

日々、小さな「夢」でいいので、その夢に向かって行動の「未来図」を描き、

**“ワクワクする”気持ちを忘れずに実行する**

そのスモールステップの積み重ねこそ、幸せになる秘訣なのかもしれません。

「しあわせは いつも自分の心がきめる」という相田みつをさんの詩、始業式に伝えたわたしが好きな詩に、どこか通じる気がするのです。